



2019年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年1月31日

上場会社名 株式会社キングジム 上場取引所 東
 コード番号 7962 URL <https://www.kingjim.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 彰
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 原田 伸一 (TEL) 03-3864-5883
 四半期報告書提出予定日 2019年1月31日 配当支払開始予定日 2019年3月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第2四半期の連結業績(2018年6月21日～2018年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第2四半期	15,695	△0.8	275	△48.8	428	△33.8	232	△44.1
2018年6月期第2四半期	15,819	1.5	538	170.3	647	129.1	416	—

(注) 包括利益 2019年6月期第2四半期 △44百万円(—%) 2018年6月期第2四半期 793百万円(228.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第2四半期	8.19	8.16
2018年6月期第2四半期	14.66	14.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年6月期第2四半期	28,433	21,348	73.8	738.06
2018年6月期	26,979	21,659	79.0	749.90

(参考) 自己資本 2019年6月期第2四半期 20,977百万円 2018年6月期 21,314百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	7.00	—	10.00	17.00
2019年6月期	—	7.00			
2019年6月期(予想)			—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年6月21日～2019年6月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	0.6	1,450	△24.2	1,700	△18.6	1,200	△14.5	42.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2019年6月期2Q	32,459,692株	2018年6月期	32,459,692株
2019年6月期2Q	4,037,227株	2018年6月期	4,037,227株
2019年6月期2Q	28,422,465株	2018年6月期2Q	28,422,650株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に、設備投資の持ち直しや、雇用・所得環境にも明るい兆しがみられるなど、景気は緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、国際的な通商問題や海外経済の不確実性等により、先行きの不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは数多くの新製品を発売し、新たな市場の創出と獲得に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は156億9,575万円（前年同期比0.8%減）となりました。利益面では、のれんの償却額が減少したものの、運賃や賃借料等の増加により、販売費及び一般管理費が増加したため、営業利益は2億7,539万円（前年同期比48.8%減）、経常利益は4億2,822万円（前年同期比33.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億3,289万円（前年同期比44.1%減）となりました。

2018年12月には、キングジムグループ各社の商品を集めた展示イベント「キングジムフェア2018」をベルサール秋葉原にて開催いたしました。今回で3回目の開催となりましたが、前回同様に2万人を超えるお客様にご来場いただき、当社グループ商品をご体感いただくことができました。

今後も、このようなイベントを通じて市場への一層の浸透を図り、需要の拡大に取り組んでまいります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 文具事務用品事業

ステーションナリーにおきましては、箱型の額縁「hacobuchi(ハコブチ)」や、手紙用品の収納ボックス「紙文箱」を発売した他、独特の風合いが楽しめるウォッシュブルクラフトペーパーを採用したファイルカバーとノートカバーの「クラフト」シリーズや、フリーアドレスなど、社内での移動に適したワークツール「フリオ」シリーズを発売いたしました。

電子製品におきましては、「テブラ」PROシリーズに、オフィス向けエントリーモデルSR370を発売いたしました。その他、スマートフォンやPCからアラーム設定ができるデジタル時計「リンクタイム」や、定期的な予定の管理に便利な習慣時計「ルクル」、2014年の発売以来、高いご支持をいただいている「デジタル耳せん」に、本体とケーブルを一体型にし、スペックアップを図った新モデルMM2000を発売いたしました。オフィス環境改善用品では、電子吸着ボード「ラッケージ」に、パーティションタイプと壁掛けタイプを発売し、ラインアップの拡大を図りました。

この結果、新製品は好評であったものの、主力の厚型ファイルの販売減等により、売上高は118億9,667万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は、売上原価率の上昇や、販売費及び一般管理費の増加により2億3,829万円（前年同期比49.5%減）となりました。

② インテリアライフスタイル事業

㈱ぼん家具では、キッズ向け商材や、収納などがついた機能性こたつなどの季節商材を投入し、主力モールである楽天やAmazon、Yahoo!ショッピングにおいて、各種セールやポイント付与などを積極的に活用して、売上高の増強に努めました。㈱アスカ商会では、高品質なアーティフィシャル・フラワーの商品拡充を図ると共に、季節需要に合わせたパンフレットを配布いたしました。㈱ラドンナでは、主力のキッチンカテゴリーにおいて、これまでのラインアップに加え、より洗練されたカラーの上位モデルを展開し、ブランドとしての価値を強化してまいりました。また、好調なアクアバブルの新作や、ヘアブラシ、時計付きのフォトフレームなど、リラクゼーションやフォトフレームの各カテゴリーにおきましても、精力的に新商品を投入いたしました。

この結果、売上高は37億9,908万円（前年同期比2.1%増）、営業利益は、運賃や賃借料等の増加による販売費及び一般管理費の増加により3,145万円（前年同期比43.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して、14億5,376万円増加し、284億3,346万円となりました。これは主に、投資有価証券が減少した一方で、現金及び預金や商品及び製品が増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して、17億6,420万円増加し、70億8,480万円となりました。これは主に、短期借入金や支払手形及び買掛金が増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して、3億1,044万円減少し、213億4,866万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が減少したことによるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態に関する説明については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して3億5,397万円増加し、48億2,029万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ3億2,177万円増加し、4億2,844万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益4億2,196万円や仕入債務の増加額9億7,263万円があった一方、たな卸資産の増加額17億1,767万円や法人税等の支払額3億3,255万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ2,318万円増加し、1億7,595万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入2億2,480万円があった一方、有形及び無形固定資産の取得による支出2億6,281万円や定期預金の預入による支出1億5,360万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、前年同期に比べ7億6,197万円増加し、9億3,011万円となりました。これは主に、配当金の支払いによる支出2億8,409万円があった一方、短期借入金の純増額12億3,000万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年1月29日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,702,798	4,985,216
受取手形及び売掛金	4,839,842	4,835,021
商品及び製品	5,681,827	7,267,103
仕掛品	414,027	429,437
原材料及び貯蔵品	1,293,285	1,435,722
その他	461,395	548,445
貸倒引当金	△2,517	△2,204
流動資産合計	17,390,659	19,498,743
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,714,854	5,717,936
減価償却累計額	△3,330,980	△3,407,573
建物及び構築物(純額)	2,383,873	2,310,363
機械装置及び運搬具	2,647,322	2,685,389
減価償却累計額	△2,171,579	△2,264,605
機械装置及び運搬具(純額)	475,742	420,783
土地	1,667,180	1,667,180
建設仮勘定	19,034	42,131
その他	2,743,906	2,776,095
減価償却累計額	△2,470,100	△2,480,824
その他(純額)	273,806	295,271
有形固定資産合計	4,819,637	4,735,729
無形固定資産		
その他	355,703	345,767
無形固定資産合計	355,703	345,767
投資その他の資産		
投資有価証券	2,663,327	2,138,583
退職給付に係る資産	1,094,760	1,119,144
繰延税金資産	197,939	176,758
その他	465,966	423,367
貸倒引当金	△8,297	△4,630
投資その他の資産合計	4,413,696	3,853,223
固定資産合計	9,589,037	8,934,720
資産合計	26,979,696	28,433,464

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,983,097	2,958,154
短期借入金	—	1,230,000
1年内返済予定の長期借入金	16,000	—
未払法人税等	363,042	163,226
未払金	803,673	690,404
役員賞与引当金	31,136	11,265
その他	789,639	804,079
流動負債合計	3,986,589	5,857,130
固定負債		
繰延税金負債	677,454	545,423
退職給付に係る負債	363,252	383,257
資産除去債務	20,937	21,008
その他	272,359	277,983
固定負債合計	1,334,004	1,227,673
負債合計	5,320,593	7,084,803
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,978,690	1,978,690
資本剰余金	2,507,159	2,507,159
利益剰余金	20,027,025	19,975,699
自己株式	△3,567,808	△3,567,808
株主資本合計	20,945,067	20,893,740
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	899,770	533,577
繰延ヘッジ損益	435	△479
為替換算調整勘定	△390,540	△336,536
退職給付に係る調整累計額	△140,628	△112,812
その他の包括利益累計額合計	369,037	83,748
新株予約権	70,847	89,569
非支配株主持分	274,150	281,602
純資産合計	21,659,102	21,348,660
負債純資産合計	26,979,696	28,433,464

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年6月21日 至2017年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年6月21日 至2018年12月20日)
売上高	15,819,314	15,695,759
売上原価	9,689,160	9,635,604
売上総利益	6,130,154	6,060,154
販売費及び一般管理費	5,591,929	5,784,763
営業利益	538,224	275,391
営業外収益		
受取利息	5,275	5,163
受取配当金	38,454	44,663
為替差益	3,161	27,012
受取賃貸料	76,550	79,850
その他	16,428	25,182
営業外収益合計	139,870	181,872
営業外費用		
支払利息	3,626	1,583
賃貸収入原価	23,699	24,591
その他	3,559	2,866
営業外費用合計	30,886	29,041
経常利益	647,208	428,222
特別損失		
固定資産除却損	5,003	6,258
特別損失合計	5,003	6,258
税金等調整前四半期純利益	642,205	421,964
法人税、住民税及び事業税	182,078	141,086
法人税等調整額	30,538	38,665
法人税等合計	212,616	179,751
四半期純利益	429,588	242,212
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,040	9,315
親会社株主に帰属する四半期純利益	416,547	232,897

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年6月21日 至2017年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年6月21日 至2018年12月20日)
四半期純利益	429,588	242,212
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	307,655	△366,192
繰延ヘッジ損益	△401	△915
為替換算調整勘定	67,423	52,140
退職給付に係る調整額	△10,629	27,815
その他の包括利益合計	364,047	△287,152
四半期包括利益	793,635	△44,939
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	765,682	△52,391
非支配株主に係る四半期包括利益	27,952	7,451

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年6月21日 至 2017年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月21日 至 2018年12月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	642,205	421,964
減価償却費	290,919	299,356
のれん償却額	71,322	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,269	△3,972
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	21,933	15,775
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△42,312	9,486
受取利息及び受取配当金	△43,730	△49,827
支払利息	3,626	1,583
為替差損益 (△は益)	△2,873	△5,001
固定資産除売却損益 (△は益)	5,003	6,258
売上債権の増減額 (△は増加)	△182,984	13,233
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,393,117	△1,717,679
その他の資産の増減額 (△は増加)	△35,053	△14,812
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,089,623	972,634
未収消費税等の増減額 (△は増加)	11,998	△88,979
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△299,041	△29,574
その他の負債の増減額 (△は減少)	90,927	△26,212
その他	10,649	11,254
小計	237,827	△184,512
利息及び配当金の受取額	43,646	49,825
利息の支払額	△3,577	△1,468
法人税等の支払額	△388,544	△332,555
法人税等の還付額	3,979	40,271
営業活動によるキャッシュ・フロー	△106,667	△428,440
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△177,028	△262,819
敷金及び保証金の差入による支出	△72,606	△1,148
敷金及び保証金の回収による収入	27,389	20,150
定期預金の預入による支出	△146,400	△153,600
定期預金の払戻による収入	219,220	224,802
その他	△3,342	△3,342
投資活動によるキャッシュ・フロー	△152,767	△175,956
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	680,000	1,230,000
長期借入金の返済による支出	△143,000	△16,000
配当金の支払額	△369,178	△284,092
その他	311	205
財務活動によるキャッシュ・フロー	168,133	930,112
現金及び現金同等物に係る換算差額	28,231	28,262
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△63,070	353,978
現金及び現金同等物の期首残高	5,007,383	4,466,318
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,944,312	4,820,296

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年6月21日 至 2017年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,098,847	3,720,467	15,819,314	—	15,819,314
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,798	52,843	88,642	△88,642	—
計	12,134,646	3,773,311	15,907,957	△88,642	15,819,314
セグメント利益	471,863	55,865	527,728	10,495	538,224

(注) 1. セグメント利益の調整額 10,495千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年6月21日 至 2018年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,896,678	3,799,080	15,695,759	—	15,695,759
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32,560	108,304	140,864	△140,864	—
計	11,929,238	3,907,384	15,836,623	△140,864	15,695,759
セグメント利益	238,290	31,458	269,749	5,641	275,391

(注) 1. セグメント利益の調整額 5,641千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。